

平成23年第1回潟上市議会定例会会議録（4日目）

○開 議 平成23年3月1日 午前10:00

○散 会 午前10:27

○出席議員（19名）

1 番 中 川 光 博	2 番 大 谷 貞 廣	3 番 児 玉 春 雄
4 番 藤 原 幸 作	5 番 菅 原 理 恵 子	6 番 澤 井 昭 二 郎
7 番 菅 原 久 和	8 番 伊 藤 栄 悦	9 番 戸 田 俊 樹
10 番 佐 藤 義 久	11 番 小 林 悟	12 番 岡 田 曙
13 番 佐 藤 昇	14 番 藤 原 典 男	15 番 西 村 武
16 番 鈴 木 斌 次 郎	18 番 藤 原 幸 雄	19 番 佐 々 木 嘉 一
20 番 千 田 正 英		

○欠席議員（1名）

17 番 堀 井 克 見

○説明のための出席者

市 長 石 川 光 男	副 市 長 鏡 利 行
教 育 長 肥 田 野 耕 二	総 務 部 長 山 口 義 光
会 計 管 理 者 佐 々 木 博 信	産 業 建 設 部 長 児 玉 俊 幸
水 道 局 長 菅 原 龍 太 郎	教 育 次 長 鈴 木 公 悦
市 民 生 活 部 長 小 林 健 一	福 祉 保 健 部 長 鈴 木 司
総 務 課 長 藤 原 貞 雄	企 画 政 策 課 長 幸 村 公 明
活 性 化 推 進 室 長 関 谷 良 広	財 政 課 長 川 上 護
産 業 課 長 伊 藤 清 孝	総 務 学 事 課 長 鎌 田 雅 樹
生 涯 学 習 課 長 菅 原 一	市 民 課 長 鈴 木 利 美
生 活 環 境 課 長 近 藤 進	社 会 福 祉 課 長 大 木 充
税 務 課 長 山 平 重 男	都 市 建 設 課 長 渡 部 智
農 業 委 員 会 事 務 局 長 根 一	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長 ・ 監 査 委 員 会 事 務 局 長 三 浦 永 寿

追分出張所長 三 浦 喜 博 幼児教育課長 小 玉 隆  
高齢福祉課長 伊 藤 律 子 健康推進課長 伊 藤 正 吉

○議会事務局職員出席者

議会事務局長 伊 藤 正 議会事務局次長 門 間 善一郎

平成23年第1回潟上市議会定例会日程表（第4号）

平成23年3月1日（4日目）午前10時開議

会議並びに議事日程

日程第 1 諸般の報告

日程第 2 総括質疑

1. 議案第 2号 潟上市住民生活に光をそそぐ基金条例（案）について
2. 議案第 3号 潟上市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例（案）について
3. 議案第 4号 潟上市開発許可等手数料徴収条例（案）について
4. 議案第 5号 潟上市敬老祝い金条例の一部を改正する条例（案）について
5. 議案第 6号 潟上市都市公園条例の一部を改正する条例（案）について
6. 議案第11号 平成22年度潟上市一般会計補正予算（第7号）（案）について
7. 議案第12号 平成22年度潟上市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）（案）について
8. 議案第13号 平成22年度潟上市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）（案）について
9. 議案第14号 平成22年度潟上市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）（案）について
10. 議案第15号 平成22年度潟上市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）（案）について
11. 議案第16号 平成22年度潟上市下水道事業特別会計補正予算（第4号）（案）について
12. 議案第17号 平成22年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）（案）について

13. 議案第18号 平成22年度潟上市豊川財産区特別会計補正予算（第1号）（案）について
14. 議案第19号 平成22年度潟上市下虻川財産区特別会計補正予算（第1号）（案）について
15. 議案第20号 平成22年度潟上市和田妹川財産区特別会計補正予算（第1号）（案）について
16. 議案第21号 平成22年度潟上市飯塚財産区特別会計補正予算（第1号）（案）について
17. 議案第22号 平成22年度潟上市水道事業会計補正予算（第4号）（案）について
18. 議案第23号 平成23年度潟上市農業集落排水事業特別会計への繰り入れについて
19. 議案第24号 平成23年度潟上市下水道事業特別会計への繰り入れについて
20. 議案第25号 平成23年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計への繰り入れについて
21. 議案第26号 平成23年度潟上市一般会計予算（案）について
22. 議案第27号 平成23年度潟上市国民健康保険事業特別会計予算（案）について
23. 議案第28号 平成23年度潟上市後期高齢者医療特別会計予算（案）について
24. 議案第29号 平成23年度潟上市介護保険事業特別会計予算（案）について
25. 議案第30号 平成23年度潟上市農業集落排水事業特別会計予算（案）について
26. 議案第31号 平成23年度潟上市下水道事業特別会計予算（案）について
27. 議案第32号 平成23年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計予算（案）について

- 28. 議案第33号 平成23年度潟上市豊川財産区特別会計予算（案）について
- 29. 議案第34号 平成23年度潟上市下虻川財産区特別会計予算（案）について
- 30. 議案第35号 平成23年度潟上市和田妹川財産区特別会計予算（案）について
- 31. 議案第36号 平成23年度潟上市飯塚財産区特別会計予算（案）について
- 32. 議案第37号 平成23年度潟上市水道事業会計予算（案）について
- 33. 議案第38号 市道路線の認定について

日程第 3 提出議案委員会付託（付託表のとおり）



午前10時00分 開議

○議長（千田正英） おはようございます。

ただいまの出席議員は18名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成23年第1回潟上市議会定例会を再開致します。

17番堀井議員が所用のため欠席届が出ております。なお、12番岡田議員よりは、遅くなるとの連絡が入っております。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

**【日程第1、諸般の報告】**

○議長（千田正英） 日程第1、諸般の報告を行います。

総括質疑について申し上げます。

総括質疑は2名の通告がありました。

質疑の順番は、抽選の結果、1番めに19番佐々木嘉一議員、2番めに14番藤原典男議員となりましたので、宜しくお願いします。

○議長（千田正英） これで諸般報告を終わります。

**【日程第2、総括質疑】**

○議長（千田正英） 日程第2、これより提出議案に対する総括質疑を行います。

議案第2号から議案第38号は一括議題として質疑を行います。

なお、総括質疑の時間は答弁を含めて15分とし、発言者は、最初は発言席において、再質疑からは自分の席にてお願い致します。

19番佐々木嘉一議員の質疑を許します。19番佐々木嘉一議員。

○19番（佐々木嘉一） 貴重な時間を拝借して総括質疑を行いますので、宜しくお願いします。

一つめは職員研修についてであります。

既にご案内のように、公務員は全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、かつ、職務の遂行に当たっては全力を挙げてこれに取り組むという職務専念義務があります。

地方公務員法第39条には、職員には勤務能率の発揮および推進のため、研修を受ける機会を与えなければならないと規定され、このことは任命権者の義務とされています。

さらには、市は研修の目的、研修に関する基本的な方針として、人材育成基本方針を

定めることが法律上の責務とされています。

この度、市長は、職員の勤務評定制度の導入方針を示されました。ご承知のように、職員には職務遂行上の権利義務があり、研修の機会も与えられます。任命権者には権利もありますが、義務もあります。その点、研修計画と勤務評定はコインの裏表であります。

本年は、県との人事交流による職場研修も予定された旨の報告もありました。このことに関し、質問します。

市は、職員研修によって達成される人材育成基本方針について策定されておりますでしょうか。

二つめは、平成22年度に実施された研修は何でしたでしょうか。

三つめは、平成23年度一般会計2款1項1目一般管理費19節負担金補助及び交付金に計上されている研修会受講者負担金16万8,000円はどのような研修ですか。

平成23年度当初に計画されました職員研修計画について、一般会計・特別会計に予算化した研修についてお知らせください。

二つめですが、平成23年度の一般会計第2表債務負担行為についてお伺いします。

電算システム更新事業であります。期間が平成23年度から平成28年度まで、限度額6億1,680万円としています。この事業の内容について、次により質問します。

一つめは、予算計上に当たっては限度額をどのように算定しておりますか。

ロのシステム更新の事務処理の内容と範囲はどうですか。

システム更新のうち、ソフトの既存データの処理と、あるいはハードの機器等があると思いますが、それらの金額はそれぞれ幾らでしょうか。

四つめとして、契約はどういう契約の方法によりますでしょうか。

以上であります。宜しく申し上げます。

○議長（千田正英） 当局より答弁を求めます。藤原総務課長。

○総務課長（藤原貞雄） 19番佐々木嘉一議員の総括質疑の一つめ、職員研修についてお答え致します。

地方公務員法の職員の研修における定義は、佐々木議員ご案内のとおりであります。

ご質問（イ）の人材育成基本方針の策定につきましては、本市では平成19年4月に潟上市人材育成基本方針を策定しております。目標内容は、目指す職員像として5つのテーマを掲げ、その人材育成に向けた取り組みの一つとして職員研修を位置づけており

ます。

次に、ロの平成22年度に実施された研修は、秋田市職員研修棟で開催された秋田県市長会主催研修で、その内容につきましては、職階別研修、クレーム研修など9科目、秋田県自治研修所で開催された県と市町村の合同研修では、新規採用職員研修や法律・政策関連および職階別等の研修5科目、千葉県各市町村アカデミーでの研修では、人事および地域保健関係の2科目、滋賀県の国際文化研修所での研修では、使用料等の滞納債権に関する研修1科目、さらには市町村職員海外研修、渡航先はヨーロッパでございましたが、などで、合わせて54名の職員が受講しております。

次に、ハの平成23年度一般会計予算の2款1項1目一般管理費19節の負担金補助及び交付金の研修会受講者負担金16万8,000円の研修につきましては、ロでお答えしました千葉県と滋賀県で開催される研修など、14名の受講負担金によるものでございます。

最後、ニの平成23年度の職員研修計画の予算化した研修につきましては、一般会計で22年度同様、秋田県市長会研修、県と市町村の合同研修、市町村アカデミー研修、海外研修等で、職員82名の受講を計画しており、それぞれの研修においては、これまでになかった新しい科目の研修も予定されております。さらに、勤務評定制度がスタートすることから、外部講師を招いての管理職向け研修も予定してございます。

なお、一般・特別会計ともに、平成23年度職員研修計画とは別に担当各課で事業遂行上、あるいは専門的に必要とされる研修については独自に予算計上しております。

以上、潟上市人材育成基本方針に基づき今後も職員の研修を重ね、能力向上、人材育成に努めてまいります。

次に、二つめ、第2表債務負担行為、電算システム更新事業についてお答え致します。

合併時からの電算システムがメーカー保守補償期間の終了と機器の耐用期間の経過による老朽化が進み、更新が必要となっております。現在、電算システムは行政サービスを維持する上で欠かせない情報基盤となっており、今後も安全・安定した市民サービスを図るためにはシステム更新が不可欠であると考えます。

ご質問のイの債務負担行為の限度額6億1,680万円の算定方法については、合併時の電算システム統合の総費用約5億8,400万円を基準として、各電算業者よりの見積りを根拠として算定した額5億1,400万円に分割期間5年間の月2%のリース率を加えて算定したものです。

次に、ロのシステム更新の内容と範囲につきましては、基本的には合併時に整備した

電算システム全般となりますが、主に住民基本台帳を基礎とする住基、税、福祉、住宅などの30業務のシステムの更新と、サーバー、大型プリンター、パソコンその他ネットワーク機器を合わせた約60台の関係備品の更新となります。

次に、ハの金額につきましては、ソフト部分が3億6,050万円、ハード部分が1億5,350万円、合わせますと5億1,400万円のリース料を加えた6億1,680万円の内訳につきましては、ソフト部分が4億3,260万円、ハード部分が1億8,420万円となります。

最後、ニの契約方法については、ソフト部分をプロポーザル方式後の随意契約で、ハード部分は指名競争入札による契約手法を予定してございます。

この更新を機に今後より一層の市民へのサービス向上が図れるよう鋭意努めてまいりますので、宜しくお願い致します。

以上でございます。

○議長（千田正英） 19番、再質疑ありますか。19番佐々木嘉一議員。

○19番（佐々木嘉一） どうもありがとうございました。積極的に研修をされておりますし、いずれ一般研修、専門研修それぞれやってると思いますが、やはり行政も人材が重要でありますので、ひとつ相当数おります職員については、それなりのきちんとした研修をしていただいて、職務にきちんと専念できる体制をひとつとっていただきたいと思っております。

2番めの契約の方法はプロポーザルということですが、その場合、やはり今申し上げましたような内容を提示して、そして提案をしていただくというふうなことです。それとも、これ何業者ぐらいプロポーザルに参加する業者がおるものでしょうか。一つだけお願いします。

○議長（千田正英） 藤原総務課長。

○総務課長（藤原貞雄） 19番佐々木議員の再質問にお答え致します。

プロポーザルにつきましては、5社から6社を選定しましてプロポーザルを実施しております。

それから内容につきましては、当然その合併時の現状のシステムの中身をより吟味しまして、最新のシステム更新ができるような提案をしていただくということで計画しておりますので、宜しく申し上げます。

○議長（千田正英） 19番、再々質疑ありますか。19番。

○19番（佐々木嘉一） プロポーザル方式というのは、いずれ提案制度ということで理

解しておりますけれども、その場合、これはあれですか、随意契約になりますか、それとも指名競争になりますか。

もう1点は、プロポーザルの場合は当然その提案内容によって、いわゆる内部で審査する機関が必要と思いますが、それらについてはどういう方々が審査に当たっていますか。お願いします。

○議長（千田正英） 藤原総務課長。

○総務課長（藤原貞雄） 再々質問にお答え致します。

プロポーザルの随意契約ということにつきましては、先ほどお答えしたようにプロポーザル方式で業者を選定しまして、その後で随意契約ということで予定してございます。

それからプロポーザルの選考につきましては、部課長をはじめ庁内の担当職員で選定委員会を組織しまして、それで選考に当たっていく予定でございます。

○議長（千田正英） これをもって19番佐々木嘉一議員の質疑を終わります。

14番藤原典男議員の質疑を許します。14番藤原典男議員。

○14番（藤原典男） おはようございます。藤原典男です。通告に従いまして、3点にわたり総括質疑を行いますので、宜しくお願い致します。

1点めは、議案第11号、平成22年度潟上市一般会計補正予算（第7号）（案）についてお伺いします。

歳入では、14款県支出金2項県補助金の民生費、衛生費、農林水産費、消防費、教育費と全部の項目で補正額が減額となっているが、減額になった要因について伺いたいと思います。

次は、議案第26号、平成23年度一般会計予算（案）について伺います。

農林水産業費は、前年の予算額と比べて歳出で2,626万8,000円ほど減額になっておりますが、去年の低米価、収穫した稲の品質の低下で収入減になっている今、さまざまな政策により、特に農家支援が必要だと思われまます。減額となった要因は何か伺いたいと思います。

次は、議案第27号について伺います。平成23年度国民健康保険事業特別会計予算（案）について。

国民健康保険事業は、平成22年度の保険税を当初計画していたよりも税額を引き下げたが、その後の保険給付費や後期高齢者支援金、共同事業拠出金など、金額が大きい歳

出とのバランスはどうか。予算編成の考え方について伺いたいと思います。

個々についてはいろいろ書いておりますけれども、予算編成の考え方ということで、そこに絞って伺いたいと思います。宜しくお願い致します。

○議長（千田正英） 当局より答弁を求めます。川上財政課長。

○財政課長（川上 護） 14番藤原典男議員の総括質疑の一つめ、歳入14款県支出金2項県補助金についてお答えします。

県補助金を減額補正した理由については、年度末を迎え、事業が終了したもの、あるいは実績見込みを精査した結果、対応する県補助金もあわせて減額するものがほとんどであります。

なお、減額が100万円を超えるものについては以下のとおりです。

衛生費県補助金のうち母体健康増進支援費補助金201万2,000円の減は、妊婦健診の受診者数を当初予算で250人と見込んでおりましたが、新たに妊娠される方が想定を大きく下回り、実際に健診を受診される方が190人程度と見込まれ、事業費が減ったためであります。

次に、農林水産業費県補助金のうち、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金は125万3,000円の減額であります。これは豊川地区地形図作成事業費の確定による減でありまして、実施に当たって市が所有するデータを活用することができたために事業費を圧縮することができたものであります。

次に、消防費県補助金318万7,000円の減額であります。本補助金を利用して消防団器具庫2庫を建設しておりますが、入札の請負差額であります。

最後に教育費県補助金であります。すこやか子育て支援事業費補助金152万8,000円の減については、この補助金の対象となる事業について、事業費は変わらないものの国庫補助金の対象額が増えたために県補助金が減るものであります。

また、チェンジあきた教育プロジェクト事業補助金180万2,000円の減は、事業の実施方法を見直したことにより事業費が圧縮されたものであります。

以上でございます。

○議長（千田正英） 伊藤産業課長。

○産業課長（伊藤清孝） 14番藤原典男議員の総括質疑の二つめ、農林水産業費についてお答え致します。

この減額の一番の大きな要因は6款1項6目農業集落排水事業費で、昨年度より

2,543万2,000円減額となっております。この主なものは、大崎地区の排水施設が公共下水道に接続替えになったことに伴い、施設費が必要なくなったため、農業集落排水事業特別会計の繰出金が少なくなったためでございます。

農業政策の予算につきましては、農業振興地域整備計画の策定が終了し、これに伴う委託料の減額、また、天塩地区の基盤整備事業にかかわる土地改良事業負担金が減少し、予算全体では昨年度より若干減額となっておりますが、新規に営農維持推進助成金や農業生産力向上事業補助金を予算計上しており、農家支援については、むしろ昨年度より充実しております。

以上でございます。

○議長（千田正英） 鈴木市民課長。

○市民課長（鈴木利美） 14番藤原典男議員の3点め、平成23年度潟上市国民健康保険事業特別会計予算（案）についてお答え致します。

国保特別会計の予算編成時の考え方としましては、第1に、保険給付費や後期高齢者支援金、介護納付金などの歳出額を推計しながら、歳出額を十分に賄える歳入額を定めていくというのが基本になります。

平成23年度予算につきましても歳出額を推計する場合、国・県の指導・助言のもと、過去の療養費や支援金等の伸び率、実績を考慮し、決められたルールに従いながら過大な推計額にならないよう考慮しております。

また、歳入額につきましては、国・県からの交付金や補助金の具体的な算定方法は新年度に入ってから示されますので、予算編成時には直近の情報をもとに、歳入歳出のバランスを考慮しながら予算編成を行っております。

今後は、補正予算により対応せざるを得ない項目が多々ありますので、ご理解のほど宜しくお願い致します。

○議長（千田正英） 14番、再質疑ありますか。14番。

○14番（藤原典男） まず議案第11号と、それから議案第27号については、説明聞きまして了解致しました。

それで議案第26号なんですけれども、主な減額の理由は農業集落排水事業の関係だと、いらなくなったというふうなこと、理解できましたけれども、その後に農業支援のために新規に営農維持推進助成金、それから農業生産力向上事業費補助金を予算に上げてるとお聞きしましたけれども、この中身について概略で結構ですのでご説明を宜しくお願

い致します。

○議長（千田正英） 伊藤産業課長。

○産業課長（伊藤清孝） 14番藤原典男議員の再質問にお答え致します。

先ほど申しあげました営農維持推進助成金、それから農業生産力向上事業費補助金の中身ということでございますが、営農維持推進助成金は昨年が異常気象によりまして農産物が大幅に減少したということで、23年度は水稲、それから大豆、枝豆、それぞれの種子に20%の助成をお願いしたいということで予算計上しております。いずれも対象者は戸別所得補償制度の加入者ということでございます。

それから農業生産力向上事業費補助金につきましては、これは農業の複合化を推進したいということで、この複合化に必要な農機具、あるいはパイプハウス等の設備、これらの購入に対して市単独で40%の助成を行いたいということが中身でございます。

以上です。

○議長（千田正英） 14番、再々質疑ありますか。14番。

○14番（藤原典男） 理解できました。どうもありがとうございます。終わります。

○議長（千田正英） これをもって14番藤原典男議員の質疑を終わります。

**【日程第3、提出議案委員会付託】**

○議長（千田正英） 日程第3、これより提出議案の常任委員会付託を行います。

議案第2号から議案第6号までおよび議案第11号から議案第38号までの33件については、2月23日の本会議で配布致しました委員会付託表のとおり、それぞれ所管の各常任委員会にて審査を付託致します。

以上で、本日の日程は全部終了しました。よって、本日はこれにて散会します。

なお、3月11日金曜日、午前10時より本会議を再開しますので、ご参集願います。

どうもお疲れさまでした。

---

午前10時27分 散会